

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

数値は%

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室スペースとの関係で適切であるか。	100		指定基準以上のスペースを確保している。
	②	職員の配置は適切であるか。	100		有資格者が多く在籍している。日々の療育も基準以上の人数を配置している。
	③	生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等の配慮が適切になされているか。	100		空間の仕分けは構造化されている。
	④	生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	92	8	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDACサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか。	100		毎週会議で行っており、業務改善に努めている。
	⑥	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに保護者等の意向を把握し業務改善につなげているか。	100		アンケートも元に会議を開き、可能な限り改善を心がけている。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	50	50	事業所として自己評価を行い、HPで公開している。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	64	36	
	⑨	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	91	9	外部の研修に参加し職員同士で学んだことを共有している。事業所内研修も実施したい。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100		保護者様との面談時にアセスメントを実施しニーズを伺い、支援計画を作成している。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るため標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	91	9	事業所内で実施することもあるが保護者様の同意がある場合は外部での検査結果を頂いている。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドライン「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100	0	児童発達支援ガイドラインの支援内容からニーズに合わせて必要な支援を選択し、支援内容を設定している。

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	100		支援計画は職員に周知し、支援計画に沿った支援を実施している。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100		チーム(委員会)で立案をしている。ゲーム遊び等様々なものを取り入れるよう心掛けている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか。	100		個別に行う課題もお子さんの様子に合わせて随時内容を変更している。活動プログラムは委員会で立案
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか。	100		個別療育の他に集団プログラムもあり、人との関わりを心配されるニーズに対応している。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	91	9	毎朝実施し、役割分担や支援内容を確認している。
	⑱	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援振り返りを行い気付いた点を共有しているか。	92	8	終業前に必ず実施し、情報を共有している。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し支援計画の検証・改善につなげているか。	100		課題内容を記録し、伝達できるようにしている。
	⑳	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	100		半年に一度モニタリングを行い、支援計画の見直しを実施している。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	73	27	参画はしていないが、電話で連携をしている。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	82	18	ADDSと連携している。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)			
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)			
	㉕	移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100		保護者様からご要望があれば保育園や幼稚園を訪問し連携をしている。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)等との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	64	36	ご要望があれば実施したい。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し助言や研修を受けているか。	91	9	外部の研修やABAの研修会、事例検討会に参加している。

	⑳	保育所や認定子ども園、幼稚園との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	36	63	ご要望があれば実施したい。
	㉑	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等に積極的に参加しているか。	18	82	
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100		連絡帳や送迎時にご様子を伝えたり、必要に応じてお電話などで共通理解を図っている。
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から保護者に対して家庭支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか。	91	9	ペアレントトレーニングは実施していないが、保護者様からご相談がある場合は対応方法などアドバイスをしている。
保護者への説明責任等	㉔	運営規定、利用者負担について丁寧な説明を行っているか。	100		ご契約時に説明をしている。
	㉕	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容とこれに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100		支援計画のご相談を実施し、同意を得ている。
	㉖	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	100		ご相談や悩みのある時は、面談やお電話で必要な支援や助言をしている。
	㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	27	73	コロナの影響で開催できなかった。状況が落ち着いたら開催したい。
	㉘	子どもや保護者からの相談申し入れについて、対応の体制を整備するとともに子どもや保護者に周知し相談や申し入れがあった場合迅速にかつ適切に対応しているか。	100		契約やモニタリング時に随時ご相談を受け付けていることと、連絡方法(連絡帳、メール、送迎時)など連絡をお伝えしている。ご要望があった場合は速やかに対応している。
	㉙	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	91	9	ブログやインスタグラムで活動の報告をしている。
	㉚	個人情報の取り扱いに十分注意しているか。	100		個人情報は鍵をかけて保管している。
	㉛	障害のある子どもの保護者さとの意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100		ご利用者の特性に応じた情報伝達を行っている。
	㉜	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っているか。	27	73	
		㉝	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100	

適切な支援の提供	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100		年2回、避難訓練を実施している。その都度反省点などを話し合い次に活かせるようにしている。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等子どもの状況を確認しているか。	100		保護者様からお話を伺い、対応方法を職員に周知している。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	91	9	看護師を中心に職員が指示書に基づき対応している。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	100		ヒヤリハットを作成し、日々の打ち合わせで情報共有をしている。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100		事業所内で研修会を実施し、適切な対応方法について事例検討を行っている。
	④⑦	どのような場合にやむ負えず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で児童発達支援計画に記載しているか。	63	37	今後、指針を策定したい。現在、身体拘束が必要なご利用者様はいない。